

テーマ 帰村が始まる飯館村で

私たちに何ができるか？

2017年度活動の深化に向けて

趣旨 私たち ふくしま再生の会は、福島第一原発事故後2011年6月以来、全村避難後の福島県相馬郡飯館村において、村民・ボランティア・専門家の自律性・創造性に支えられて、全村の放射線・放射能の測定、農業・山林再生の試み、健康医療ケアの実践など、多彩な活動に取り組んできました。

飯館村は今年3月31日に、長泥地域を除き6年に及んだ避難指示が解除されます。帰村を選択する人、多くの不安を抱え迷っている人、当面村外に生活すると決めた人、帰村できない人、それぞれが生活と生業の再建という困難な問題に直面しています。

ふくしま再生の会は、村民・ボランティア・専門家の創意に基づく飯館村の生活・産業の再生という長期目標に向けて、協働活動をさらに推進していきたいと思っています。本ワークショップでは、帰村が始まる飯館村で、「私たちに何ができるか？」を分科会形式で考えたいと思います。その後全参加者で、地域コミュニティ再生／農地・山林・牧場再生などの新企画、会の活動を支えるデジタルアーカイブ・村内外の事務局・事務所体制を議論したいと思います。また日頃活動をご一緒にしている各団体からの報告もお願いしたいと思います。

参加者全員で、2017年度活動の深化に向けて知恵を絞っていききたいと思います。

会場 J J K会館 東銀座（全国情報サービス産業厚生年金基金会館）東京都中央区築地4-1-14
<http://www.jjk.or.jp/about/index.html#map>

日時 2017年2月25日(土)
午後2時 ～ 午後4時45分 分科会・分科会報告・質疑
午後4時45分 ～ 午後6時 軽食・休憩
午後6時 ～ 午後8時50分 全体会合…新企画への挑戦

参加費 1,000円（資料・弁当代）

参加申し込み 「ワークショップのご案内」のメルマガに返信いただくか
事務局 desk@fukushima-saisei.jp までメールでご連絡ください。

●スケジュール

13:00～14:00 準備（会場設定、受付設定、記録方法確認など） 事務局＋協力会員

14:00～16:00 ワークショップ（3つの分科会）

14:00～14:10 本ワークショップの趣旨 田尾陽一

14:10～16:00 分科会

分科会1 <帰村開始後の環境放射線・放射能総合測定とデータ提供、帰村後に何が出来るか>

司会進行責任者 小原壮二 記録責任者 小川唯史

14:10～14:30 [車載・定点・歩行空間放射線測定, 個人放射線測定]の実績と課題・質疑
報告者 小原壮二

14:30～14:50 [水・土壌・樹木・植物・動物の放射能測定]の実績と課題・質疑
報告者 伊井一夫（測定）・森本晶子（採取）

14:50～15:10 [避難指示解除後の地域コミュニティと個人放射線管理運用・
現地放射能測定サイト運用など]

報告者 小原壮二

15:10～16:00 討論とまとめ 小原壮二

分科会2 <健康・医療・ケアの実践>

司会進行責任者 中町芙佐子 記録責任者 松田純子

14:10～14:30 [松川第一仮設住宅・個別訪問などの活動]の実績と課題・質疑
報告者 中町芙佐子

14:30～14:50 [伊達東仮設住宅・個別訪問などの活動]の実績と課題・質疑
報告者 北村充成

14:50～15:10 [避難指示解除後の地域コミュニティと放射線・放射能・健康見守り体制]
[活動の中で接した原発事故前後の飯舘村村民の思いを記録する試みの検討]

報告者 相澤 力

15:10～16:00 討議とまとめ 中町芙佐子

分科会3 <農林畜産業の再生>

司会進行責任者 大永貴規 記録責任者 大塚秀光

14:10～14:30 [水稻栽培と販売ルートの開拓・酒米栽培と醸造]の実績と課題・質疑
報告者 菅野宗夫

14:30～14:50 [ハウス栽培事業での協働]の実績と課題・質疑
報告者 野々垣旦

14:50～15:10 [森林材のチップ化・焼却炉・ハウス暖房の実験]
報告者 菅野宗夫

15:10～16:00 討議とまとめ 大永貴規

16:00～16:45 分科会のまとめ報告と質疑 司会 田尾陽一

各グループⅠ、Ⅱ、Ⅲの司会進行責任者

16:45～17:45 軽食 休憩（グループ配置のまま、議論続行、トイレ休憩）

※お弁当をご用意しております

17:45～18:00 片付け、椅子の配置換え（教室形式に変更）

18:00～20:50 全体会合 新企画への挑戦

司会進行責任者 田尾陽一 記録責任者 矢野伊津子

18:00～18:30 飯舘村の農業再生 その課題と支援体制 溝口勝

地力回復・継続的除染法の研究と実践
全村田畑の土壌採取・放射能・化学・生物分析

18:30～19:00 アーカイブの開発——記録・保存・提供

各チームの活動の中で得た放射線・放射能測定データ、活動記録、把握した事実・情報を構造化して整理する。さらに、活動の成果を村民や社会に普遍性のある形で整理・提供し、起こった事実とその意味を検索して思考できるアーカイブを目指す。全体のシステムのイメージを会員が共有し、構築作業を協働する。

(18:30～18:45) 「放射線・放射能測定のデジタルアーカイブ」報告者 栗山俊一郎

(18:45～19:00) 「各種記録・写真などのドキュメント記録・保存・提供」報告者 高木浩子

19:00～19:30 避難指示解除後の佐須地域コミュニティの再生に向けて

報告者 菅野宗夫・菅野永徳

19:30～20:00 協働団体の挨拶と方針 (出席各団体 3分)

国立環境研究所

明治大学農学部

飯舘電力/いいたて協働社/福島自然エネルギー基金/

NPO都市農村交流推進センター

KEK(高エネルギー加速器研究機構)

農林生産環境中における濃度変動の要因と動態の解明プロジェクト (東大農)

NPOプラチナギルドの会

渥美財団 SGRA

学生団体 (東大いいはなP、フェリス、明治、早稲田・・・)

20:00～20:30 全体について質疑応答

20:30～20:40 ふくしま再生の会 今後の活動拠点展開計画 (事務所体制・宿泊拠点など)

二宮克彦

20:40～20:50 まとめ 田尾陽一

20:50 散会

ワークショップ課題

佐須・滑コミュニティ

山林再生
畜産
エネルギー

農業再生
地力
米
ハウス栽培

健康・医療・ケア
生活の安全

モニタリング DB

放射線

放射能

アーカイブ
記録・保存・提供